

どすこいかわ版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

墨田で活躍のシニアを訪ねて

すみだ史談会のおはなし

小木曾 清三

夏炉冬扇

人に歴史があるように、人によって歴史は作られる。自分で歩んだ稗史を未来へと、確かなものにするために、歴史を作っていくのかも知れない。

繰り返し悔やむ事で沸き出る闘志を沈静化させ、そして友を作る。激しい人間社会の中で愛し愛される人々の「結び」を活かし「今」を知る。

私達の住んでいる墨田区には、遠い昔から人々の集落が見られ、多くの史跡として残されています。特に江戸期には、文人墨客が数多く往来し、その繁栄の様



すみだ史談会会長

小木曾清三さん

は、多くの人々の知るところです。私達は温故知新の心をもって、この江戸東京の文化発祥の地である「隅田川文化」や「墨田区の文化と歴史」を調査研究すると共に、その成果を後世に語り継ぐとして、郷土史家の五木田直先生、教育委員長の江川良一先生、校長の日野秀夫先生をはじめ、多数の方により発起に至りました。

「ご承知のように「すみだ」は、大正12年の関東大震災や昭和20年の太平洋戦争の戦災にあつて、歴史はあつても資料という証拠が焼失してしまつたという大打撃を受けました。そこで墨田区に「郷土史博物館」建設を目指して頑張ろうとした経緯があります。もう30年前の平成元年5月の話です。すみだ史談会の誕生です。近年では墨田区にも「郷土史博物館」という名称ではありませんが、「すみだ郷土文化資料館」を始め「江戸東京博物館」「相撲博物館」「花火資料館」「時計博物館」など代表的な博物館もあります。墨田区は「文化」のまちそして「産業」のまちでもあります。まだまだ知られていない産業製品や資料を公開してくれている『小さな博物館』運動があります。「軟式野球資料室」「羽子板資料館」「屏風博物館」「べつ甲資料館」「相撲写真資料館」「桐の博物館」などです。

最近では、「たばこと塩の博物館」「郵政博物館」「北斎美術館」の完成公開がありまして、これに伴い昨年の「すみだ史談会」の年間テーマを『博物館巡り』として活動しました。その活動のひとつは「国技館の隅々までの探訪」でした。両国と相撲の関わりや建物の由来、雨水の利用から力士の支度部屋、トイレ、お風呂、花道、そして国技館名物の焼とりの調理場まで説明と見学をしました。私も始めてだったので、支度部屋での様子の説明には感動すら覚えました。

平成30年1月には「刀剣博物館」が安田庭園の旧両国公会堂跡地に開館するとの事で、最も「すみだ」らしい文化の誕生に景観がどのようなものになるのか不安もあります。大変期待しています。

平成29年度の「すみだ史談会」のテーマは『伝統』5月には飛鳥時代まで遡る①「水引」の話を玉乃井陽光氏にして頂きました。②7月9日「相撲」③9月18日「北斎」④11月19日「刀」⑤1月7日「七福神巡り」⑥2月11日「会員の研究発表会」年度の締めくくりの⑥は各々の会員が個人であれグループであれ1年間研究した事の発表となります。

「すみだ史談会」問合せ先
090-8114-9594
小木曾まで

「中年子育て奮闘記」 その25 鈴谷 明

「保育園③」

さて、保育園申し込みの書類を手にして一瞬たじろいだ私でしたが、まずは最初の1ページから丁寧に読み進めていくことにしました。「いつまでにどんな書類を作成していけば良いのか」ということと、「我が家から通える範囲にどんな保育園があるのか」という2点を念頭に目を通しました。仕事も勉強も人間関係も「難しい」という先入観を抱いてしまうと、始めることが本当に億劫になってしまいます。特に私はそういった悪い癖がある人間なので、「わからない所は後で問い合わせることにしよう。」と考える始めました。

作成した書類は次のようなものでした。

①申請書 ②こどもの記録 ③祖父母の現況確認 ④勤務(稼働)証明書 ⑤市民税所得証明書(お住まいの自治体や申し込まれる方々の状況によって提出する書類が異なりますので、ここでは私たちの経験に基づいた

もののみをご紹介しています。) 自分自身で書き込む書類は、いきなりボールペンで記入してしまうと、間違えたときに修正するのが面倒です。そこで、私たちは申し込み書類の冊子をもう一部いただき、下書き用として鉛筆で記入していききました。記入しながら、わからないところ

ろは冊子の説明や記入例を参照していききました。それでもわからないときは、不明箇所付箋を付けて、後日まとめて区役所の窓口へ問い合わせることにしました。

意外に苦労したのは、勤務先に作成してもらう書類でした。これは「勤務(稼働)証明書」といって、両親の勤務先に就労状況を証明してもらうことで、保育施設の利用が必要であることを説明するための書類です。妻は正社員として月曜日から金曜日まで会社で勤務していますから、その会社に証明してもらえばよかったので、そんなに大変ではありませんでした。ちよっと厄介だったのは、私の方でした。



手軽にクッキング 80

<6月のスープ>

「生姜入りスープ」

<材料> 2人分

(1人分 61kcal)

根生姜	少々
玉ねぎ	1/2個
人参	少々
チンゲン菜	1個
豆腐	100g
だし汁	400cc
塩コショウ	少々
しょう油	少々



<作り方>

1. 生姜はすりおろしておく
2. 玉ねぎはスライス
3. 人参は皮むきし、短冊切り
4. チンゲン菜はざく切り
5. 豆腐はさいころ切り
6. だし汁で野菜を煮込む
7. 柔らかくなったら、塩コショウで味を整える
8. 豆腐を入れ、しょう油を加えて再度味見する
9. 生姜汁を加え、器に盛っていただく

生姜風味でさっぱりしたスープはいかがでしょうか。お試し下さい。

(協力：食育支援部)

友(幼馴染)

石山 はる子



最近、懐かしい人からの連絡が相次いだ。これほど多くの前から次々と電話をもらうことは珍しい。一人一人が懐かしい友人、ご無沙汰の挨拶から始まり、近況報告から一度会って食事でもとの話になり、そのうちの何人かとは、その後食事をしたりお茶を飲んだりして、旧交を温めた。

その中に幼馴染のI子ちゃんがいる。近所に住んでいたI子ちゃんとは幼少の頃からよく遊んだ。同じ年だったので学校へは誘い合わせて登校し、習い事も一緒に通った。

すぐ近くにいた仲良しの友達成人してからはそれぞれの生活は大きく変わったが、友人としては何十年間も途切れることはなかった。

住まいが遠く離れてからは、なかなか会えなくなったが、何年かに一度は会う機会があった。

それぞれの家を訪問したり、どこに出かけたりもした。

一番最近会ったのは、東京スカイツリーがオープンした年、私達が子供の頃遊んだ土地に高い塔が建ち、賑わっている。私は早速連絡をとると、何日もしないうちに出来てきた。一緒にスカイツリーに上った。遠くの景色を楽しむのではなく、すぐ近くに広がる懐かしい場所、一緒に通った小・中学校、お祭りの思い出がある氏神様、春のお花見、夏の盆踊りを楽しんだ公園等を見つけては思い出に浸った。

それから5年近くたっている。今回は私が千葉県に住むI子ちゃんの家へお邪魔することになり、出かけて行った。直接家へ行く



のではなく、最寄り駅に車で迎えに来てくれた。近くの、最近人気の出ている公園へ行き散策した。その後、I子ちゃんの家へ、子供のころからの?十年間の話に花が咲いた。自分達だけでなく、お互いの家族にまで話が及ぶと、それにはどれ位の時間が必要なのか私自身もわからない。

懐かしい時を過ごし、I子ちゃんの家を辞した。思い出を共有できる友のいることを幸せに思った、楽しい春の一日でした。

メルマガ希望者募集

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方は、住所・氏名・年齢をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。

tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

原稿を募集しています。

どすこいかわら版では3面のエッセイにあなたの原稿を募集しています。

ぜひ、ご投稿ください。お待ちしております。

また、どすこいかわら版と一緒に作る方も募集しています。

編集作業に興味がある方は、てーねん・どすこい倶楽部情報紙部まで連絡下さい。

「シニア人材バンク登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか?

平成29年度墨田区在宅緩和ケア事業 がん相談会

がんサロン

SAKURA

がんサロンSAKURA(さくら)は、がん患者さんご家族が、体験や悩みを分かち合い、よりよく日々を過ごせるよう支え合う場です。参加者同士の語り合いや、専門職による「がん」に関するミニ講義の他、個別の相談もお受けします。どうぞお気軽にご参加ください。

日時：平成29年7月15日(土曜日) 午後2時～4時
会場：墨田区役所(墨田区吾妻橋1-23-20) 3階31会議室
対象：がん患者さんご家族(患者さんのみでも参加できます)

プログラム

1. ミニ講義(約20分) ※内容は一部変更になることがあります。
主治医との付き合い方(宮本幸雄先生 東京都立墨東病院乳腺外科部長)
2. 語り合い
参加者の皆さんに、がんの体験や悩みをお話しいただき、「がんと共に生きていくこと」を考えます。
3. 個別の相談 ご希望の方はお申し出ください。

参加費：無料 定員：先着20名

申込み：開催日5日前までに、お名前(同伴者がいる場合はその方のお名前も)・住所・電話番号を、下記申込み先へご連絡ください。
※定員に達しましたら締め切らせていただきます。

お申込み・お問合せ先

企画運営：NPO法人すみだ在宅ホスピス緩和ケア連絡会あこも

TEL 5669-8302/FAX 5669-8310/E-Mail s-sumida@pallium.co.jp

共催：東京都立墨東病院・社会福祉法人賛育会賛育会病院 主催：墨田区



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課

〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20

電話 03-5608-6168

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8

電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578

(平日午前10時～午後4時)

メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

最近、十代の人達の活躍
が取り沙汰されています。
将棋の世界、スポーツの
世界、他の方面でも大いに
マスコミを賑わしています。
シニアの身にとっては、
羨ましい限りです。これか
ら何かにトライしてみたく
なりました。

編集後記